

オーダーメイド講習インタビュー

千代田区内建材メーカー勤務

田口様 高井様

Q オーダーメイド講習を利用されたきっかけは何ですか？

この度、取引先より当社の製品をBIM上でデータ化するよう求められ、急きょRevit操作を習得する必要がありました。これまでAutoCADは活用してきましたが、Revit・BIMは全くの未経験で、扱えるスタッフもいない状態です。様々な講習を調べましたが、その中で城南職業能力開発センターがBIMのキャリアアップ講習をしているのを見つけました。初級の講習は既に申込が締め切られていましたが、会社単位で申し込める「オーダーメイド講習」を利用できることが分かり、社員6人で受講することとしました。

Q 講習を利用されていかがでしたか？

人数分のパソコンを用意して、しかもすべてにRevitをインストールするのはスペース的にも経済的にもかなり大変です。その点、こちらの教室であれば、一人一台操作できるだけでなく、講師の操作画面を投影するモニタも設置されているので、非常にやりやすかったです。内容も会社のニーズを反映したものにアレンジしてくれているので、良かったです。

Q Revitを学ばれてみていかがでしたか？

当初は年度末までには自前でファミリー（建材等をデータ化したもの）を作成できるかと考えていましたが、実際に触れてみて、大変奥の深いソフトであることが分かりました（笑）。今後、企業申込枠を利用して、引き続きRevit中級コースに2名派遣するなど、一步一步着実に進めて行こうと思います。また、キャリアアップ講習の他にも、講師を派遣してもらう事業（現場訓練支援事業）もあるようなので、制度をうまく活用していきたいと思っています。



講師から

どのソフトでもそうですが、マスターするには実際に手を動かさないと身に付きません。その場合一人であれば講師が横について事務所内でも個人指導ができますが、複数の人が同時に学習しようとする、そうはいきません。人数分が入る会議室とそこにソフトがインストールされたパソコンなどの設備が必要になります。また例えばソフトは2ライセンスでよいが、学習は4人がしたいという状況だと、学習時には同時使用になるので4ライセンスが必要ということにもなり、ライセンス数をどうするか、特に Revit は高額なソフトなので問題になります。

そのようなことにお困りの企業でしたら、この城南職業能力開発センターの講習は設備が整っていますので、非常に有効に活用できるのではないかと思います。

私山形は、建築実務の中で Revit を 10 年間使ってきた経験をもとに講習しております。皆さんの BIM 導入のお役に立てればと思います。

山形雄次郎先生（日本 BIM 普及センター代表）

<https://bim-center.net/>

